

第6回
フォルテピアノ・アカデミー
SACLA
プレコンサート



Kikuko Ogura
Chie Hirai
Seiichiro Nishino

小倉貴久子

6台の鍵盤楽器

ガラコンサート

平井千絵



西野晟一朗



～ピアノの発明者クリストフォリ、バッハ親子と親密なジルバerman、

モーツァルトがウィーンで愛用したヴァルター、作曲家たちにファンタジーを与えた
クラヴィコードとタンゲンテンフリューゲルによる18世紀鍵盤音楽史絵巻～

クリストフォリ

D.スカララッティ：ソナタ 二短調 K.1 / L.ジュスティーニ：ソナタ 長調 Op.1-7

ジルバerman

C.P.E.バッハ：専門家と愛好者のためのソナタ及びロンド 第2集より ロンド 第2番 二長調 Wq.56/3 H.261、ロンド 第3番 イ短調 Wq.56/5 H.262

タンゲンテンフリューゲル

D.ブクステフーデ：トッカータ 長調 BuxWV165 / J.S.バッハ：平均律クラヴィーア曲集 第2巻より プレリユードとフーガ 長調 BWV884

クラヴィコード

F.J.ハイドン：ソナタ 長調 Hob.XVI:48

ヴァルター2台

モーツァルト：シンフォニー 短調 K.550 第40番 クラヴィーア2台編曲版

レイホックホール

RaiBoC Hall. さいたま市民会館おのみや
小ホール (7階)

2024 7月12日 金

18:30開演 (18:00開場)

全席自由 3,500円

チケット発売日 令和6年4月13日 (土)

*【SaCLaインフォメーションセンター販売ページ】
<https://p-ticket.jp/saitama-culture>

*10時より受付開始。初日はインターネット予約のみ。

*窓口でのチケット引き取りは4月14日 (日) より

〈チケット発売・お問合せ〉

*メヌエット・デア・フリューゲル

TEL 048-688-4921

URL <https://www.mdf-ks.com/>

Eメール mdf-ks@piano.zaq.jp

*イープラス <https://eplus.jp>

下記プレイガイドは、4月14日 (日) 9時より発売

RaiBoC Hall (さいたま市民会館おのみや) 048-641-6131

さいたま市文化センター 048-866-3171 さいたま市民会館いわつき 048-756-5151

プラザイースト 048-875-9933 プラザウエスト 048-858-9080

西部文化センター 048-625-3851 宮原コミュニティセンター 048-653-8558

片柳コミュニティセンター 048-686-8666 美園コミュニティセンター 048-764-8810

SaCLa インフォメーションセンター 048-866-4600

◆主催：メヌエット・デア・フリューゲル

◆共催：Ohtagakki Fortepiano、公益財団法人さいたま市文化振興事業団

◆協力：久保田チェンパロ工房、新井千笑、原クラヴィーア工房

◆後援：(一般社団法人) 全日本ピアノ指導者協会

18世紀はピアノが発明され、徐々にチェンバロからピアノへと鍵盤楽器が世代交代してゆく時代。1700年頃、イタリアでクリストフォリによって発明されたハンマーで弦を打つ仕組みのピアノは、ドイツのジルバーマンに伝えられます。音量の変化を指のタッチによって変化させることのできる打弦システムの楽器は、フォルテピアノの他にもさまざまな楽器がありました。クラヴィコードはハンマーではなく真鍮片が弦を叩き押し上げて音を出し、ヴィブラートをかけることができる楽器。タンゲンテンフリューゲルはキー後方の加速レバーが木片のタンジェントを飛ばして弦を打つ仕組み。クリストフォリ=ジルバーマン式アクションをベースに、より軽いタッチで弦を打つ、跳ね上げ式アクションをドイツのシュタインが開発します。この仕組みを継承したウィーンヴァルターが製作したフォルテピアノは、18世紀末のウィーンで大人気となりました。コンサートではこれらの楽器と関わり深い作品が演奏されます。6台の鍵盤楽器が並ぶ、まるで18世紀鍵盤音楽史絵巻のような楽しいコンサートです。



クリストフォリ
B.Cristofori 1726年
(復元楽器 久保田彰製作)

ジルバーマン
G.Silbermann
1746年
(復元楽器 久保田彰製作)

タンゲンテンフリューゲル
Schröter
(復元楽器 久保田彰製作)

クラヴィコード
J.H.Silbermann 1775年
(復元楽器 太田垣至製作)

ヴァルター
A.Walter 1795年
(復元楽器 C.マーンネ製作)

ヴァルター
A.Walter 1795年
(復元楽器 太田垣至製作)

小倉貴久子

東京藝術大学を経て同大学大学院ピアノ科修了。アムステルダム音楽院を特別栄誉賞付き首席卒業。ブルージュ国際古楽コンクールアンサンブル部門及びフォルテピアノ部門で第1位と聴衆賞受賞。50点以上リリースのCDの多くが推薦盤や特選盤に選ばれている。著書に『ピアノの歴史』（河出書房新社）ほか。文化庁芸術祭レコード部門〈大賞〉、ミュージック・ペンクラブ音楽賞、JXTG音楽賞、下総皖一音楽賞受賞。自主企画シリーズ「小倉貴久子《フォルテピアノの世界》」好評開催中。東京藝術大学講師を19年間務める。東京音楽大学非常勤講師。

平井 千絵

車のなかった時代のピアノ、フォルテピアノに魅せられ活動中。国内外で15枚のアルバムをリリース。ブルージュ国際古楽コンクール3位、IYAP国際室内楽コンクール1位など国内外で入賞多数。欧州各地の音楽祭に出演。フオンティス大学、オランダ王立音楽院、アムステルダム音楽院等で、後進の指導にあたった。欧州では14年間現代ピアノに触らず、フォルテピアノのタッチを追究。桐朋学園大学ピアノ科卒業、オランダ王立音楽院古楽科（修士）首席卒業。東京藝術大学、国立音楽大学、東海大学非常勤講師。浅間山の麓、長野県佐久市在住。

西野 晟一朗

桐朋学園大学古楽器科チェンバロ専攻を卒業。チェンバロ、通奏低音を有田千代子、上尾直毅、根本卓也の各氏に、フォルテピアノを小倉貴久子氏に師事。第4回フォルテピアノ・アカデミーSACLAではクラヴィコード、タンゲンテンフリューゲルのコンサートと、クラヴィコードワークショップの講師を務め好評を博した。アルル音楽教室チェンバロ講師。コンセル・エクラタン福岡チェンバロ奏者。新・福岡古楽音楽祭2023にて寺神戸亮氏と共演。

第6回 フォルテピアノ・アカデミー SACLA

大募集！
受講生・聴講生

～フォルテピアノにどっぷり浸る4日間～
7月13日（土）～15日（月・祝）

11台のクラヴィアが集い、レッスン、コンサート、レクチャー、ワークショップに個人練習も充実

アカデミーに登場する鍵盤楽器
ヴァルター2台・シュタイン・スクエアピアノ・ジルバーマン・クリストフォリ・タンゲンテンフリューゲル・クラヴィコード4台

小倉貴久子プロデュース

ゲスト講師：平井千絵・西野晟一朗

アカデミーの詳細はホームページをご覧ください。
<https://fortepianoacademy.jimdofree.com/>



レイボックホール
RaiBoC Hall.

さいたま市民会館おおみや
埼玉県さいたま市大宮区大門町2-118
(大宮門街 4～8階)
TEL.048-641-6131 / FAX.048-641-6133

電車でお越しの方

【大宮駅をご利用の場合】
JR線・ニューシャトル・東武アーバンパークライン
大宮駅東口より徒歩3分

駐車場について

RaiBoC Hall (さいたま市民会館おおみや)には専用の駐車場はございません。大宮門街又は近隣の有料駐車場をご利用ください。

